第 35 回犬山シンポジウム
プログラム

日　時：2026 年 8 月 6 日（木）13:00 ～7 日（金）12:00

場　所：名古屋マリオットアソシアホテル 17 階 「コスモス」
愛知県名古屋市中村区名駅 1 丁目 1-4
TEL：052-584-1122

会 費：3,000 円

共　催：犬山シンポジウム
公益財団法人ウイルス肝炎研究財団
エーザイ株式会社
積水メディカル株式会社

【会場について（JR 名古屋駅構内）】



※ホテルフロントレセプションは 15F に位置しています。フロントレセプションへは
スカイシャトルエレベーター（1F または 2F）またはホテルエレベーターをご利用ください。

・鉄道　　東京より「のぞみ」で 1 時間 45 分（東海道新幹線）
・飛行機　　セントレア«中部国際空港»より名鉄空港特急「ミュースカイ」で 28 分
・お車　　名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約 5 分

【発表時間について】

演　　題　：　発表 10 分、質疑 5 分
特別講演　：　発表 25 分、質疑 5 分

【その他】

・立食による情報交換会の他、8 月 6 日、7 日のお昼は軽食を準備しております。なお、国公立等の施設にご所属の先生方におかれましては、事前にご所属施設の規則をご確認の上、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

▶本講演会は医療関係者の皆さまに限りご参加いただくことが可能です。
▶本講演会の内容(話される内容や投影される文字、写真、図、イラストなど)の無断での複製、転載、改変、その他の二次利用はお控えください。

【第１日目 ８月６日（木）】

13:00～13:05

開会の挨拶

金子　周一（犬山シンポジウム代表世話人）

13:05～14:20

セッション１：ウイルス性肝炎

座　長：四柳　宏（国立健康危機管理研究機構）
　　茶山　一彰（公益財団法人広島生命科学研究所）

演題１　HBs 抗原のハイブリッド供給源モデルに基づく病態評価：qHBsAg と HBsAgGi による分離評価の有用性
　　玄田　拓哉
　　順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科

演題２　HBV cccDNA と相互作用し HBV-RNA の転写を抑制する宿主タンパク ABHD14B の同定
　　大塚　基之
　　岡山大学消化器内科

演題３　抗 HBV・抗発がん作用を併せもつ肝細胞宿主因子の研究
　　中本　安成
　　福井大学医学系部門消化器内科学分野

演題４　新規経口 RNA 阻害剤 SAG-524 の作用機序と併用効果
　　田中　靖人
　　熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学

演題５　B 型肝炎の根治を目指した免疫治療の開発
　　水腰　英四郎
　　金沢医科大学消化器内科学

－　休憩（10 分）－

14:30～16:30

セッション２：脂肪性肝炎

座　長：竹原　徹郎（関西労災病院）
　　小池　和彦（東京大学）

演題１　MASLD の自然史と高リスク病態の解明
　　梅村　武司
　　信州大学医学部

演題２　肝硬度の反復的・動的評価から見えてくる MASLD の病態と予後
　　米田　正人
　　横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学

演題３　肝硬変における恒常性回復の再定義：HMGB1 を介した線維化改善と再生誘導の統合的理解
　　寺井　崇二
　　新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

演題４　MASH における病態栄養と Endo-Hepatology
　　～消化管における脂肪酸吸収および腸内細菌叢の変化による病態への修飾～
　　日浅　陽一
　　愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学

演題５　MASLD 時代の肝細胞癌サーベイランスを再考する；胸部 X 線画像による未診断肝疾患拾い上げの可能性
　　打田　佐和子
　　大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学

演題６　MASLD 肝硬変における線維形態の網羅的解析：肝細胞癌に関連する線維化ニッチの同定
　　宮明　寿光
　　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科消化器内科学

演題７　大規模多層オミクスに基づく脂肪性肝疾患の分子基盤と個別化医療への展開
　　中川　勇人
　　三重大学大学院医学系研究科消化器内科学

演題 8　MASH 関連肝発癌における TLR4-Myd88 シグナルの細胞特異的役割の解明
森下　朝洋
香川大学消化器・神経内科学

－　休憩（10 分）－

16:40～19:10

セッション 3：肝硬変

座　長：吉治　仁志（奈良県立医科大学消化器内科学講座）
持田　智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）

演題 1　全国調査から考える, 原発性胆汁性胆管炎(PBC)の進展様式と予後
小森　敦正
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター

演題 2　PBC の治療後評価を再考する
～胆管・肝細胞の IFN 関連反応から、ALP の先に残る肝実質傷害へ～
下田　慎治
関西医科大学消化器肝臓内科

演題 3　フォンタン関連肝疾患の臨床経過の検討
小木曽　智美
東京女子医科大学消化器内科

演題 4　ヒト iPS 細胞由来肝オルガノイドを基盤とした肝細胞-肝星細胞クロストークと肝線維化分子機構の解明
朝比奈　靖浩
東京科学大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学分野

演題 5　日本人慢性肝疾患患者における Baveno VII 内視鏡回避基準の妥当性
持田　智
埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科

演題 6　SGLT2 阻害薬が MASLD 併発 2 型糖尿病患者の食道静脈瘤発症におよぼす影響
川口　巧
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門

演題 7　高齢化時代を見据えた肝性脳症における頭部 MRI 検査
～アルツハイマー型認知症を含めた病態把握～
西川　浩樹
大阪医科薬科大学内科学 II 教室

演題 8　肝性浮腫に対する薬物療法と IVR/手術療法の今後について
厚川　正則
日本医科大学大学院医学研究科消化器内科学

演題 9　遺伝子組み換え ADAMTS13（rADAMTS13）を用いた ACLF および AKI-HRS の新規治療戦略
吉治　仁志
奈良県立医科大学消化器内科学講座

演題 10　自己完結型肝硬変再生療法の取り組みと展望
高見　太郎
山口大学大学院医学系研究科消化器内科学

－　休憩（10 分）－

19:20～19:50

特別講演 1：「　私の肝炎研究と犬山シンポジウム　」
座　長：岡上　武（大阪府済生会吹田病院）
演　者：小池　和彦（東京大学）

20:00～20:15　写真撮影

20:30～21:30　情報交換会（立食形式）

【第２日目　８月７日（金）】

8:00～10:40

セッション４：肝癌

座　長：黒崎　雅之（武蔵野赤十字病院）
　　金子　周一（金沢大学大学院情報医学開発講座）

演題１　肝癌におけるバイオマーカーMYCN の有用性
　　清水　雅仁
　　岐阜大学大学院医学系研究科消化器内科学分野

演題２　肝癌複合免疫療法のバイオマーカー探索
　　小玉　尚宏
　　大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

演題３　病理像に基づく精緻なダイセクションと遺伝子解析に立脚した肝外胆管癌の二系統発癌モデル
　　小俣　政男
　　山梨県立病院機構中央・北病院

演題４　FALD 肝癌のゲノム解析による発癌関連因子の探索
　　考藤　達哉
　　国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター

演題５　肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究
　　建石　良介
　　東京大学大学院医学系研究科消化器内科学

－　休憩（10 分）－

演題６　切除不能肝細胞癌に対する複合免疫療法に関する検討
　　中馬　誠
　　横浜保土ヶ谷中央病院消化器内科

演題 7　肝細胞癌に対する重粒子線照射と複合免疫療法の併用についての実臨床成績を踏まえた考察
上野　義之
山形大学医学部内科学第二講座

演題 8　肝がん局所環境に高効率で薬剤放出を可能とする近赤外線応答型薬物送達システム開発
仁科　惣治
川崎医科大学消化器内科学

演題 9　HNF4α を標的にした肝発がん抑制薬、代謝改善薬の開発研究
山下　太郎
金沢大学医薬保健研究域医学系消化器内科学

演題 10　肝発がん研究から予防治療の可能性を探る
沖田　極
山口大学

－　休憩（15 分）－

10:55～11:25

特別講演 2：「　ウイルス性肝炎の研究　」
座　長：熊田　博光（虎の門病院）
演　者：茶山　一彰（公益財団法人広島生命科学研究所）

11:25～11:55

特別講演 3：「　時代を駆けた医学研究　」
座　長：持田　智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）
演　者：金子　周一（金沢大学大学院情報医学開発講座）

11:55～12:00

閉会の挨拶
金子　周一（犬山シンポジウム代表世話人）